

ほぼ全管種に対応

異種管接合 補修継手 ユニバーサルジョイント

前田バルブ工業

前田バルブ工業(前田康雄社長)は、呼び径10〜50の給水管においてほぼすべての管種に対応する異種管接合継手「ユニバーサルジョイント」の販売を開始した。施工が早く、かつ簡単であり、新管の異種管継手の接合のほか、既設管の漏水発生時の補修材としても活用できる。

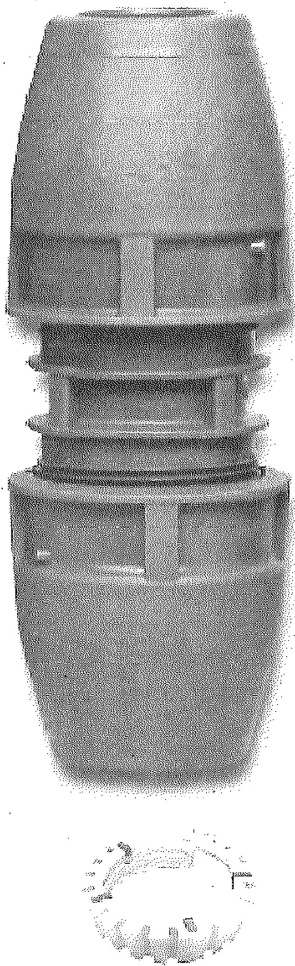
同ジョイントは、同社とイスラエル・プラッソン社との契約により、日本国内向けに前田バルブ工業が再仕様化を行い、国内の管工事市場向けに

使いやすく再設計したものとイスラエル・プラッソンの。日本水道協会品質認証センターの認証登録品(登録番号G-835)。施工は、接合する管の外面に差し込み長さをマ

ークし、ウエス等できれいに拭き取った後に管を挿入し、軽いトルクでナットを締めるだけで完了する。面取りやインコア

は不要。漏水補修時の手順も、新管接合の手順に漏水管所の切断が加わるだけ。厚めのOリングを採用

しておりシール性能が高く、1.6MPaまでの使用圧力に対応。また、水圧が増加するほどシール性能・抜け防止性能が



本体(上)と多管種対応を可能とするストップパーリング(下)

増加するセルフシーリング構造になっている。本体・ナットには高密度ポリプロピレン樹脂を使っており、長期耐久性が高く埋設でも使用可能。

適用管種は、ポリ二層管、ポリ一般管、塩ビ管、青ポリ管、架橋ポリ管、ポリブテン管、アルミ複合管、ステンレス鋼管、鉛管、銅管などほぼすべての給水管を網羅している。

前田康統副社長は、「漏水発生時等、いざというときに助かる商品であり、日本全国の倉庫で必ず備蓄していただけるような環境を目指していきたい」と話している。

熊本市・熊本城ホール
し、米国での実績を含め、
説明。日鉄パイプライン

新 日 本 期代表 Eスチ 務執行 とを発 の株主 正式決 任する 日本 6日、 体制案 にヴェ の野田